

フィリピン研修体験記

群馬大学医学部保健学科作業療法学専攻卒業生 穂苅 遥

フィリピンでの研修は、「新たな視点」と「発信の重要性」を実感するものとなりました。

研修では、精神領域・小児領域の施設を見学しました。施設の利用者とのアクティビティに参加したり、スタッフの仕事を体験したりしながら現地の作業療法に触れ、大学の授業だけでは学ぶことのできない新たな考え方や世界の現実を目の当たりにしました。

また、現地の作業療法学生に向け、英語で日本の作業療法についてプレゼンテーションを行いました。自身が学んできたことや母国の作業療法について発信するという機会が、より自身の理解を深めるきっかけとなりました。さらにこの発信により、現地の学生との意見交換につながり、同じフィールドで学ぶ学生として非常に嬉しく感じました。

この研修での体験は、帰国後の大学での学習や、臨床現場での実践に役立っています。

(353字)